

認定こども園・さざなみの森

「大地」を改善することから始める 子どもも大人も自然と共に暮らす土台づくり

保育環境づくりのポイント

「畑・火場・水場・調理場・草木のある暮らしの場所」にするため、大地の再生整備で水と空気が循環する健やかな土台づくり。「土」ワークショップによる職員の自然理解への深まり。

～子どもたちのこの力を育みたい～

感じる・気付く力 うごく力 考える力
やりぬく力 人とかかわる力

取組み内容

<実施内容1：大地の再生整備>

昨年度、プロジェクトで話し合う中で「自然と触れ合える場所づくり」→「土をつくる園庭」→「畑・火場・水場・調理場・草木のある場所」にしたいという流れになり、全園児のための「暮らし」の場所づくりがキーワードになった。

しかし、取り組んでいる場所は、コンクリートに挟まれ、水が溜まってしまふような詰まっている場所であったため、専門家の力を借りて、どのような改善、整備が必要か見立ててもらい、「大地の再生」という手法を用い、園内の植栽剪定や地域の竹林整備などをして、なるべく身近に手に入る資材を用いて、地中に空気や水が入るような整備を実施した。保護者やスタッフにも呼びかけ一緒に整備するワークショップ(以下W.S.)を設け、協働した。

- ・ 9/20 下見および見立て
- ・ 2/2～4 資材調達 (2/4風の草刈・剪定W.S.)
- ・ 2/10～11,13～14 水脈整備 (2/11 W.S.)



水脈整備W.S.の様子



整備後。今後芝生が緑になる予定。

<実施内容2：職員向け「土」連続ワークショップ>

職員自身が自然への理解や洞察を深めることで、自然とともに暮らす場づくりに日常的に向かえることを目的に、栽培作業を通したW.S.を定期的に実施した。育っていく野菜を子どもも保育者も共に見て、触れ、感じ、匂って、味わうことが日常の風景となった。

- 第1回(8/22) 野菜の性格、畝作り、人参種まき、簡易土壌診断
- 第2回(9/14) キャベツ定植、カブ種まき、緑肥、コンパコンプラント
- 第3回(10/12) 野菜観察、間引き、草マルチ
- 第4回(11/21) 粃殻くん炭の作り方、野菜手入れ、培養土作り
- 第5回(2/20,29予定) 簡易温床づくり、苗づくり



「土」W.S.土壌観察の様子



観察して寄り添うと、野菜は元気に育つ

<今回の取組みを通して>

一人では掛けそうなことも協働することで楽しく取り組み、終わった後は身体も心もすっきり整ったような感覚になりました。感覚が蘇るような体験ができたと感じています。

乳児担当 前田昌代

